

令和6年度第2回いしかり生き物かけはし有識者意見交換会

資料1-2

No	該当ページ（旧）				該当ページ(新)				
	頁	章	節	意見		章	節	検討案	最終案
1				地域戦略の紹介をする場を今後お願いしたい				座談会等を開催していくことで引き続き対応する	座談会等を開催していくことで引き続き対応する
2				生物多様性って何だろう、なぜ必要なのかということを市民に知っていただくようなイベントがあるとよい				No 1 のとおり	No 1 のとおり
3	20	4	4	必要に応じてアクションプランを策定するという個別の行動計画を作ることは書いといたほうが良い	17	4	1	全体に共通して4.1に記載し、特に今後想定される項目（1～4）については行動目標にも記載	全体に共通して4.1に記載し、特に今後想定される項目（1～4）については行動目標にも記載
4	38	6	2	38ページ6章2節にある進行管理/PDCAサイクルで進めるとあるが、どれくらいの頻度でみるのか、具体的にこの戦略をいつ、誰がチェックするのかが書かれるとよい	38	6	1	自然保護課の想定ではあるが、予算等の方針と絡んでくるので環境審議会等とする	自然保護課の想定ではあるが、予算等の方針と絡んでくるので環境審議会等とする
5	38	6	2	座談会を続けていくという話があるが、それもこの進行管理に組み込めるのではないか	38	6	2	追記しました	追記しました
6	38	6	2	環境審議会よりも具体的な事業に対する組織があるといい	38	6	1	No2のとおり	No2のとおり
7	27	5	3	外来種対策の27ページのアクションプランの内容についてですが、防除を進めていきますとありますが、外来種の対策として大切なのが調査と啓発なのでそこも記載いただけたら	28	5	3	変更L752 ●アクションプランの策定 注目外来種として選定した種は広く情報収集を行い、迅速な対策が必要な種については、必要に応じて有識者の協力を得ながらアクションプランを策定し、防除、 情報共有体制の構築、普及啓発 を進めていきます。	変更L752 ●アクションプランの策定 注目外来種として選定した種は広く情報収集を行い、迅速な対策が必要な種については、必要に応じて有識者の協力を得ながらアクションプランを策定し、防除、 情報共有体制の構築、普及啓発 を進めていきます。
8	21	5	1	第5章1節にあると思うのですが、拡充・拡大についても意味が分かりにくい	20	5	1	修正：拡充の意味が次の昇格と同じであるため削除（L734） 既存の区域を拡大、地域区分の昇格の可能性がある場合は、	修正：拡充の意味が次の昇格と同じであるため削除（L734） 既存の区域を拡大、地域区分の昇格の可能性がある場合は、
9	20	5	1	指標として30by30について、細かい数値は出ていませんが、国の指針として面積を評価指針としているので、面積を現状より増やしますということで書いてはどうか。	-	-	-	市のKPIについて面積数値に検討を考えています。戦略の中では増やすという内容のみにしています。環境白書の方では数値を明記する形になると思います。	市のKPIについて面積数値に検討を考えています。戦略の中では増やすという内容のみにしています。環境白書の方では数値を明記する形になると思います。
10	9	3	1	石狩市はどの程度保護区を持っていて、2030年までに石狩市でどのくらい増やせるのか出せるとよい。	9	3	1	No9のとおり	No9のとおり
11	9	3	1	共生サイトに登録できそうな面積を数値化することで、他の管理者への話し合いの材料にもできるのではないだろうか	9	3	1	No9のとおり	No9のとおり
12	-	-	-	2030年までに洗い出しをして、目標までいけてなかったら、次に2040年までにどうするのかにつながるのではないか	-	-	-	今回の会議と座談会での意見等についてもそういった内容のご意見は次回までの課題としておきます。	今回の会議と座談会での意見等についてもそういった内容のご意見は次回までの課題としておきます。
13	9	3	1	9ページの課題について、339行目にある無数に～という湿地の表現について、22ページ☒は無数に点在するとありますが、本当にあるのかという部分が気になりました。点在する小さな湿地でよいのでは	9	3	1	修正（L385）	修正（L385）
14	11	3	2	11ページにある394行目のオオムラサキについて、飼育販売のための乱獲とあるが、乱獲まで行くのかなと思いました。収集のための採集とか言葉の表現でもよいのでは	11	3	2	「採集」に修正（L439）	「採集」に修正（L439）

15	7	2	4	7ページでの遠浅の～という部分でサケが～という表現の方が、サケ・ニシンと読めなくもないので修正したほうが良い	7	2	4	【修正】（L317） 砂浜海岸で遠浅の旧石狩市域にはサケ、産卵床となる海藻（草）が育つ岩礁が広がる厚田から浜益にはニシン、それぞれの地形に合った魚種が見られます。	【修正】（L317） 砂浜海岸で遠浅の旧石狩市域にはサケ、産卵床となる海藻（草）が育つ岩礁が広がる厚田から浜益にはニシン、それぞれの地形に合った魚種が見られます。
16	1	1	1	1ページ84行目でも、平成20年とありますが、西暦が抜けている	1	1		修正・追記（L74）	修正・追記（L74）
17	1	1	1	84行の上で、8つの分野を入れていますが、この地域戦略ではこの項目で考えていないので、紛らわしいのでなくても意味は通じる	1	1	1	削除（L71）	削除（L71）
18	5	2	1	5ページでも湿地があるように見える。感覚かもしれないが、石狩市の湿地はかなり少ないと思う	5	2	1	湿地の表現を統一しました	湿地の表現を統一しました
19	20	5	6	33ページの、再生可能エネルギーについて。ぜひ環境審議会でも議論・検討いただきたい。石狩市の地域的な特徴として、風力発電施設の建設と生物多様性保全の両立は大きなテーマだと思う。5.6で掲げる「再生可能エネルギーの導入と生物多様性との共生うんぬん」はよいと思うが、その中身として、現在のガイドラインやゾーニングに基づいて適地誘導するにとどまっている。ここも、5.2希少種や5.3外来種の項のように、さらなる情報収集のための調査、対策、そして普及啓発について書くべきではないか。たとえば希少種についても全ての種を対象に調査するとは書いてない。いくつかある「開発行為」のなかでも、これまでずっと議論になってきた風力発電について、すでに多くの風車が立つ中で、生物多様性や希少種への影響に関する調査をする、近年追加された調査や報告書のデータを集めることができるのではないか。生物多様性に関する情報を得るために、独自にも調査をすること、そして具体的な普及啓発をしていくことが大切である、ということまで書いた方が良いと思う。それらを生かして、ゾーニングの情報を更新すると、位置づけてほしい。たとえば風力発電の事業者は、事業ごとの調査しかない。誰男累積影響評価や広域の影響評価はしない。どこまでの規模で調査ができるかわからないが、生物多様性の保全のための地域戦略なのだから、そうした情報収集や普及啓発に努める姿勢は示すべきだと思う。	33	5	1	3.1の課題として基礎調査が足りていない（P9/396）という課題から5.1でモニタリング調査の継続、基礎調査の推進について記載し、L727で「生物多様性の保全に関するデータとして積極的に活用していきます。」と記載しました。 【修正】 ●地域に合わせた情報の把握 保護区の指定の有無に関わらず、地域の情報を把握し実態を明らかにしていくため、市内の広域にわたり基礎的な自然環境調査を実施します。また、自然環境の状態や生物情報など環境の変化を科学的に捉えるための継続したモニタリング調査を実施し、情報の収集、把握を図ります。得た情報については、生物多様性の保全に関するデータとして積極的に活用していきます 【修正】 また、土地管理者などの関係主体に対し、再生可能エネルギーの導入に関わらず、既存の生物及び環境情報をデータの収集・共有を促すとともに、生態系・生物多様性保全の適切な配慮を求めます。	3.1の課題として基礎調査が足りていない（P9/396）という課題から5.1でモニタリング調査の継続、基礎調査の推進について記載し、L727で「生物多様性の保全に関するデータとして積極的に活用していきます。」と記載しました。 【修正】 ●地域に合わせた情報の把握 保護区の指定の有無に関わらず、地域の情報を把握し実態を明らかにしていくため、市内の広域にわたり基礎的な自然環境調査を実施します。また、自然環境の状態や生物情報など環境の変化を科学的に捉えるための継続したモニタリング調査を実施し、情報の収集、把握を図ります。得た情報については、生物多様性の保全に関するデータとして積極的に活用していきます 【修正】 また、土地管理者などの関係主体に対し、再生可能エネルギーの導入に関わらず、既存の生物及び環境情報をデータの収集・共有を促すとともに、生態系・生物多様性保全の適切な配慮を求めます。
20	33	5	6	既存のデータを使う、生物多様性への情報を得るために、独自の対策として調査、普及啓発が大切であることまで書いた方が良い	33	5	1	No19のとおり	No19のとおり

21	16	3	6	関連して3.6について。ここは課題や問題点を洗い出して5章につなげる箇所なので、問題点をもっと具体的に明らかにした方がいい。現在は風力発電の影響について全く具体的に記載されていない。気候変動対策として再生可能エネルギーの導入が必要と書くのはわかる。生物多様性の保全にとって、気候変動対策は重要だ。ただ一方で、生物多様性の保全のための風発問題はしっかり考えないといけない。石狩市では、過去にゾーニングをやっているので、まずそれをしっかり説明する。ただし現状ではそのゾーニング計画を適地誘導にはうまく活用しきれていないと思う。それを課題として書くべきではないか。	15	3	6	【修正】（L573） 石狩湾が面することから、再生可能エネルギーの中でも風力を活用した「風力発電」のポテンシャルが高いとされております。しかし、風力発電の設置に当たっては、本市内でもオジロワシやオオワシの生息が確認されており、また海浜植物群落があるなど生物多様性への配慮が特に必要となります。 3.1で上げたように、現状の把握が不十分であり、風力発電等の再生可能エネルギー問わず、開発によって生物多様性が損失している可能性も否定できません。気候変動適応策をはじめとする開発行為におけるトレードオフの回避・最小化を図ることが重要とされております。回避・最小化をするために、現状を把握し、生物多様性の損失があれば対策をする必要があります。	【修正】（L573） 気候変動対策と生物多様性の保全は、どちらか一方のみ優先するのではなく、双方の創出を図っていくべきであり、トレードオフの関係ではないと考えていることから、「脱炭素社会を実現するためには、再生可能エネルギーの導入など気候変動対策の推進が必要となりますが、一方で生物多様性への配慮も必要となります。気候変動対策をはじめとする開発による生物多様性への影響に配慮しながら、トレードオフの回避・最小化を図ることが重要とされております。」と記載します。
22	33	5	6	希少種については、調査をして、普及啓発をして、対応が必要であればアクションプランを定めるという流れになっている。その流れと同じように、風車や開発行為については同じようにできないのか。	17	4	1	No3のとおり	No3のとおり
23	33	5	6	既存、あるものをデータとして提供するのではなくて、もう少し自然環境調査をして、石狩市の方からもデータを得ていくような書き方はできないか	33	5	6	No19のとおり	No19のとおり
24	35	5	7	せっかくポータルサイトなどもあるので、鳥のデータなど市民から得て、変化が分かる情報の集め方もある	35	5	7	【追記】（L1189） イベント以外でも動植物情報を関係主体等から収集し、蓄積ができる仕組みを構築します。	【追記】（L1189） イベント以外でも動植物情報を関係主体等から収集し、蓄積ができる仕組みを構築します。
25	35	5	7	予算が取れる、取れないということもあるので、市民調査のデータを活用してということもあるのではと思う。それが市民共同だとは思う。今回書けないかもしれないが、そういったニュアンスを入れてもらうことはできないだろうか	35	5	7	No24のとおり	No24のとおり
26	52	⑨		座談会のことで、P52にある検討経過でまとまっているので、この立て付けでホームページ上に出して、見られるように対応してほしい				準備中	準備中
27	4	2	1	石狩市には海、浜までは入れてほしい	4	2	1	【追記】（L189） また、本市の漁業はサケとニシンの歴史とともに歩んでいます。現在は、タコ、ニシン、ナマコ、ハタハタ、カレイ、ヒラメなどが水産資源として利用されています。石狩湾の海水と石狩川の淡水は、海の多様性を高め、自然資源として恩恵を受けています。 【追加】（P8） かけはしコラム②～漂着物から見える生物多様性～	【追記】（L189） また、本市の漁業はサケとニシンの歴史とともに歩んでいます。現在は、タコ、ニシン、ナマコ、ハタハタ、カレイ、ヒラメなどが水産資源として利用されています。石狩湾の海水と石狩川の淡水は、海の多様性を高め、自然資源として恩恵を受けています。 【追加】（P8） かけはしコラム②～漂着物から見える生物多様性～
28	13	3	4	P13 495行目 本市では、まだタンチョウは確認されていませんが、 →本市では、現在タンチョウは確認されていませんが、	13	3	4	【削除】 タンチョウの部分に関しては、未確定な未来のため次回の改定までペンディングしたいと思います。	【削除】 タンチョウの部分に関しては、未確定な未来のため次回の改定までペンディングしたいと思います。
29	23	5	1	P23 712行目 重要地域➡注目地域	22	5	1	修正（L760）	修正（L760）

30	23	5	1	P23 726行目 石狩町→旧石狩町（現石狩市本町地域）	23	5	1	追記（旧石狩市域）（L774）	追記（旧石狩市域）（L774）
31	24	5	1	P24 748行目 写真11・12→写真12 ※植物群落の衰退が懸念される文章の例示には、 写真11の植生回復の様子は不適当かなと思いました。 あるいはキャプションを、衰退後の植生回復の様子、など 衰退した経歴を書き入れた方が伝わりやすいかと思いました。	23	5	1	写真12に修正しました（L800）	写真12に修正しました（L800）
32	28	5	3	P28 894行目 マルハナバチ類は花粉を運ぶための重要なポリネーター（送粉者） です。マルハナバチ類がいなくなること花の受粉だけでなく、農 作物の受粉にも影響があるかもしれません。 →在来マルハナバチ類は花粉を運ぶための重要なポリネーター（送 粉者）です。在来マルハナバチ類がいなくなること花の受粉だけ でなく、農作物の受粉にも影響があるかもしれません。 ※セイヨウオオマルハナバチもポリネーターにはなりますが、重要 なポリネーターは在来種なので、2カ所を「在来マルハナバチ類」 としてみました。セイヨウはポリネーターにはなるものの、盗蜜な ど問題も大きいため、セイヨウを含まないマルハナバチ類が重要な のだということが分かりやすい表現にした方が良いと思います。	24	5	2	在来を追記しました（L949）	在来を追記しました（L949）
33	44	④		P44 1351,1352行目あたり 分類和名 哺乳「綱」、爬虫「綱」、魚「綱」、「植物綱」 →分類和名 哺乳綱、爬虫綱、魚綱（硬骨魚綱）、植物界 ※綱（こう・つな）がところどころ綱（もう・あみ）になっていま す。 また魚綱は諸説あるので魚綱のままでも良いと思いますが、魚類学 会では挙げられている種の綱は、硬骨魚綱としているようです。 参考：https://www.fish- isj.jp/iin/standname/opinion_collection/change_name.html 植物綱という階級はないので、書くとすれば植物界が適当かと思 います。植物の綱は分類体系がかなり複雑で、諸説ありますが、双子 葉植物綱でまとめたり、マンサク目は双子葉植物綱、コショウ目は 階級なしとされるものもあります。 綱にこだわらず、無難にいくのであれば、植物界で表記しても良い のかなと思います。	44	④		他の生物多様性地域戦略を踏まえて、綱を類と統一しました。植物 は一般の方も目まではわかりにくいので、植物にしました。	他の生物多様性地域戦略を踏まえて、綱を類と統一しました。植物 は一般の方も目まではわかりにくいので、植物にしました。

34	44	④		P45 1389 分類和名 哺乳綱、魚綱、植物綱 →分類和名 哺乳綱、魚綱、植物界 上記と同様です。 キク目は双子葉植物綱ですが、前ページとそろえて表記するなら植物界が良いかなと思います。	44	④		No33の通り	No33の通り
35	1	1	1	和暦について必要ないのでは？	1	1	1	削除しました。	削除しました。
36	13	3	4	3-4アライグマのワナについて、外来種で統一したほうが読みやすい	12	3	3	【追記・修正】（L469） 現在、農業被害対策の一環としてワナによる捕獲を実施しております。市民からは、家庭菜園での被害が出ている声も寄せられており、ワナの貸し出しを実施しておりますが、ワナの貸し出し台数の上限や、生態を加味したワナの設置まではできておらず、効果的な防除対策に繋がっていないのが現状です。農業被害対策と自然環境保全に係る対策を分野横断的に検討し効果的な防除対策に繋げる必要があります。	【追記・修正】（L469） 現在、農業被害対策の一環としてワナによる捕獲を実施しております。市民からは、家庭菜園での被害が出ている声も寄せられており、ワナの貸し出しを実施しておりますが、ワナの貸し出し台数の上限や、生態を加味したワナの設置まではできておらず、効果的な防除対策に繋がっていないのが現状です。農業被害対策と自然環境保全に係る対策を分野横断的に検討し効果的な防除対策に繋げる必要があります。
37	16	3	6	1970年第➡代	15	3	6	修正しました	修正しました
38	16	3	6	気温の上昇は、陸域、海域問わず生物の生息環境を変化させ、生態系へ大きく影響を与える可能性があります。➡気温の上昇は、陸域、海域を問わず生物の生息・生育環境を変化させ、生態系へ大きく影響を与える可能性があります。	16	3	6	修正しました（L561）	修正しました（L561）
39	17	3	7	本市の自然環境を深く知ること、地域理解を深め、行動変容へと促します。 本市では、生物多様性情報等を提供する「石狩市環境情報等オープンデータポータルサイト」を2021年3月に公開しています。➡本市の自然環境を深く知ること、地域の理解を深め、行動変容へと促します。 本市では、生物多様性に関わる情報等を提供する「石狩市環境情報等オープンデータポータルサイト」を2021年3月に公開しています。	17	3	7	修正しました（L603）	修正しました（L603）
40	17	3	7	また、これまでは市民に対して普及啓発を行っていましたが、➡また、これまでは市民に対して普及啓発を行ってききましたが、	17	3	7	修正しました（L608）	修正しました（L608）
41	18	4	2	図4-1の道➡石狩市という順番の変更	17	4	2	修正しました	修正しました
42	3	2	1	図2-1に旧石狩市域/厚田区/浜益区の表現を記入	3	2	1	追記しました	追記しました

43	44	④	現在では植物と動物では分類体系が異なっているため、あまり一つの表にまとめるのは適当ではないと思います。 ＊植物ではゲノム解析から再構築されたAPG分類体系が現在では主流です。 同じ表にまとめるのであれば、強いて言うなら「被子植物」でしょうか。 ちなみに、向かいは単子葉類と双子葉類という分類がありましたが、APGでこれまで双子葉類とされていたグループに単子葉類よりも遠縁のものが含まれていることがわかったため、コショウ目は「モクレン類」として別グループに分類されています。バラやキクなどのかつての双子葉類は「真正双子葉類」とされています。 被子植物 基部被子植物 モクレン類 単子葉類 真正双子葉類 こんなイメージです。 なお、エゾエノキはバラ目アサ科です。	44	④	No33の通り	No33の通り
----	----	---	--	----	---	---------	---------

その他修正

1	36	5	7	石狩浜ハマナス再生プロジェクト/コラムのタイトルを「石狩浜ハマナス再生プロジェクト」ではなく、 例えば、「自然資源・地域資源活用の事例」として、 文章の始まりを「石狩浜ハマナス再生プロジェクトは、ハマナスの咲く石狩浜の風景を～」にすると、サイクリングやフォトコンテストと並列に読みとれるので、誤解が生じないと思います。	36	5	7	済	済
2	47	⑥		エゾシカデータ2023追加	47	⑥			
3	52	⑨		環境審議会での検討追記	49	⑧			
4					5	2	1	【追記】 また、内水面共同漁業権が設定され、ワカサギなどの漁業も行われています。	【追記】 また、内水面共同漁業権が設定され、ワカサギなどの漁業も行われています。
5					11	3	2	L452-454	L452-454
6					13	3	4	L503	L503
7					21	5	1	L755	L755
8					22			コラムへの変更	コラムへの変更
9					55	⑫			